

令和2年度 第2回 瀬戸内市地域公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和2年12月10日（木）14時00分～16時00分

開催場所：瀬戸内市役所 2階 大会議室

出席委員：大東会長（岡山商科大学経営学部）

田野副会長（瀬戸内市副市長）

原 委員（両備ホールディングス㈱）

佐藤委員（東備バス㈱）

尾崎委員（有ツルヤタクシー）

坂本委員【代理：末藤氏】（有ネイチャーワールド自動車）

元浜委員（瀬戸内市商工会）

吉田委員（瀬戸内市老人クラブ連合会）

角房委員（生活交通網をつくる会）

久保委員【代理：内田氏】（西日本旅客鉄道㈱岡山支社）

石田委員（中国運輸局岡山運輸支局）

松尾委員（岡山県県民生活部県民生活交通課）

藤森委員（備前市市民生活部市民協働課）

岸本委員（瀬戸内警察署）

中山委員（備前県民局建設部管理課）

出席委員 15名

委任状提出委員 5名

事務局：企画振興課 松尾（部長）、岡崎（課長）、青砥（課長補佐）、木村（主査）

1. 開会

2. 会長あいさつ

※本市の公共交通網は、主軸となるのは民間路線バスや鉄道である。市営バスとタクシー活用制度で補完しながらネットワークを維持している。新型コロナウイルスの影響で、大きな打撃を受けているが、なんとかネットワークを維持していくことを前提に前向きな議論を進めていただきたい。

※本日の協議事項にある「瀬戸内市地域公共交通計画の策定」では、今後5年間の瀬戸内市における公共交通の将来像についてご協議いただくことになっている。市民、交通事業者、行政が一体となって公共交通を維持していくためのマスタープランとしての役割を果たす計画であるので、活発な協議をお願いします。

3. 協議事項

(1). 地域内交通について

● 市営バス事業

～事務局から資料（p1～5）について説明～

《主な説明事項》

- ゆめタウン邑久店の停留所新設及び乗継環境整備【11月2日運用開始】
- ダイヤ改正・運賃改定・路線再編【11月2日運用開始】
- 市営バス利用者数の推移

会長	ご意見、ご質問はあるか。 ないようなので私から質問させていただく。 5ページで11月になって、他の月と比べて、著しく利用者数が伸びているが、主たる要因は何か。
事務局	ゆめタウン邑久店へのバス停の新設や乗り継ぎ環境の整備、運賃改定（運賃の値下げ、1日乗車券の導入）が要因となっていると考えている。

～事務局から資料（p6）について説明～

《主な説明事項》

- 市営バスの旅客の範囲の変更登録

会長	ご意見やご質問はあるか。ないようなので私から質問する。 令和2年11月27日に法改正が施行されたが、他の地域での先行事例はないか。
----	--

委員 事務局の説明にもあったように自家用有償旅客運送の通達で一定要件を満たせば観光目的での利用は可能であったが、令和2年11月27日に活性化再生法が改正され、法律に明文化された。この改正以降の話なので全国的に事例は非常に少ないと考えられ、少なくとも岡山県での事例はまだない。この後の議案で出てくるが、地域公共交通計画の策定に関係している。前提として交通事業者が移動手段を担い、それらを補完する形で自家用有償旅客運送なども含め交通網を形成していく。人口減少により、利用者が減少する中で、日常の生活の利用だけでは公共交通の維持が難しいため、活用できる移動手段を組み合わせることで日常生活以外の移動手段も確保しながら維持に努める。路線バスなどは観光目的で利用できるが、自家用有償旅客運送も観光目的で利用できるようにして路線を持続可能にする主旨がある。必要な地域では検討して頂きたい。既存路線バスやタクシーの利用への影響が懸念されるため、バランスを考えて検討して頂きたい。

会長 あらためて確認する。旅客の範囲の拡大についてご異議はないか。
～異議なし～
協議が整ったことを確認した。事務局は、変更登録申請の手続きに向けて準備を進めてほしい。

● タクシー活用事業

～事務局から資料（p7～11）について説明～

《主な説明事項》

- 対象地域を全市に拡大（9月から）
- タクシー活用事業利用券の利用状況（令和2年度4月～10月）
- 制度内容の統一（検討中の内容を含む）

会長 ご意見やご質問はあるか。
対象年齢の引き下げに異議はないか。
～異議なし～
異議がないようなので承認する。

- 前島地区の地域内交通導入検討状況
～事務局から資料（p 12）について説明～

《主な説明事項》

- 事業の概要（調整中）
- 導入・運用開始時期

会長	ご意見、ご質問はあるか。
委員	電気自動車か。電気自動車であれば家庭用電源で充電できるか。
事務局	電気自動車を想定しており、家庭用電源での充電ではなく別に整備する。
委員	充電設備は、観光客も利用できるようにするのか。できれば住民の利用もできるようにして欲しい。
事務局	ご意見を参考にさせて頂き、検討する。
会長	他にご意見はないか。ないようなので私から質問する。 車両はリースもしくは購入どちらか。また、三菱から協力して頂ける場合、どのような連携となるのか。
事務局	市単独の場合はリースを想定している。三菱と連携する場合、無償貸与して頂きたいと考えている。担当レベルの協議においては、IT 技術を活用し、移動手段確保に限らず、生活での緊急事態にセンサーが感知する仕組みを導入した高齢者の見守り機能なども話には出てきている。
会長	他にご意見はないか。ないようなので次の議題に移る。

(2). 瀬戸内市地域公共交通計画策定について

～事務局から資料（p 13）及び別添資料「瀬戸内市地域公共交通計画（たたき台）」について説明～

《主な説明事項》

➤計画策定フロー

➤計画の内容（協議）

- 大東会長 何かご質問はあるか。
- 委員 運賃が高いといった意見があるが、事業者が運賃を下げることは難しい。岡山市の例を紹介する。65歳以上の利用者は個人負担を運賃の半額、残りの運賃（半額）を岡山市が負担する制度を網計画の中で実施を検討している。これを実施した場合、市境で対象地域とそうでない地域が出てくる。例えば、岡山市のみで実施する場合、西大寺から牛窓へ行く場合には対象となり、牛窓から西大寺へ行く場合は対象外となる。計画の中で、瀬戸内市にもこの制度を検討して頂きたい。また、通学定期への補助も提案している。障がい者や愛カード保有者には、現在事業者負担で半額にしているが、市が補助できないか。
- 事務局 岡山市と瀬戸内市を跨って運行している路線は岡山市との連携が課題になると考えているため、今後検討する。
- 会長 今後5年間に关わるため、様々な角度からご意見を頂きたい。私から質問する。現計画では、交通不便地域の解消が主たる目的だったが、今後5年間の具体的な方針を教えてください。
- 事務局 市営バスの運行やタクシー活用制度で交通不便地域の解消を行ったが、利用者数はあまり増加しておらず、課題はまだ残っている。運行改善や利用促進活動が次の計画の方針の1つになる。まだ検討中ではあるが、MaaSなど新技術を活用した移動手段に対応できるような公共交通網も考えたい。
- 会長 具体的には瀬戸内市の市営バスと民間路線バスの位置づけを明確にするイメージか。
- 事務局 旅客範囲拡大の議論にもあったように、民間路線バスと市営バスが一体となって利用しやすい環境づくりを実施したい。
- 会長 次回、素案は固まってくるか。
- 事務局 そのように考えている。次回は具体的な事業計画を事前にお示しし、会議でご意見を頂き、いただいた意見をもとに書面審議で承認を得たい。
- 事務局 今日はアンケート調査の結果や、前計画の評価、実績値など既成事実の内容になっており、これらを基に方針を決めた。次回はこれから5年間

でどのような事業展開をするか事務局から提案し、皆様からご意見を頂きたいと考えている。

委員 これまでは交通不便地域を市営バスが運行していたが、次計画で市営バスを公共交通と位置付けた場合に土日も運行するのか。

事務局 土日の運行に関する要望は市へ多く寄せられており、公共交通会議で報告したこともあるが、なかなか実現できていない。次期計画でどこまで盛り込めるかわからないが検討したい。

委員 地域の移動手段確保は必要だが、どんな感じの計画になるのかイメージできない。地域の公共交通を考える場合、もっと沿線住民のニーズを掘り下げて聞いてみてはどうか。それが、公共交通の発展につながると考えている。瀬戸内市営バスが地域のニーズに合致しているかもっと掘り下げてもいいのではないか。

事務局 市営バスに関しては利用者が伸び悩んでいるのは市民のニーズにマッチしていないこともあると思う。市営バスを運行して頂いている事業者には利用者から直接改善の声を聴いておられると思うため、随時教えて頂きたい。ニーズについては、今後アンケート調査、聞き取り調査などを随時実施していきたい。乗ってもらえるように市民ニーズにマッチした施策を計画にも盛り込んでいきたいと考えている。

委員 事業者としてたくさん利用して頂きたいと考えている。令和2年11月2日からゆめタウン邑久店で市営バスの乗り継ぎが可能になったことはどれだけ周知されているか。周知されていない理由も考えたほうがいいのか。11月2日からゆめタウンがターミナル化され、すべての市営バスが集まり乗り換えできることをどれくらい知っているか。弊社は長船北線と美和線を運行しており、コロナの影響があるかもしれないが、美和線の利用は変化がみられず、長船北線も利用者が低い水準で横ばい傾向にあるため、何か問題があると考えている。

事務局 周知やPR方法については、改正前に市営バスの情報を市内に全戸配布、HPへ掲載しているが、十分ではないと考えている。市営バス以外の主軸となる公共交通を維持・確保するためにも、次期計画では市全体の公共交通の周知も検討したい。市営バスの利用状況については、長船北線は10月166人、11月は161人となっており、この部分だけでは効果があがってないように見える。まだ1か月であることや、コロナの影響で外出頻度が減っている可能性があるため、実績に一喜一憂することなく、利用者への周知などできることから事業を進めたい。

委員 11月2日から1日乗車券が導入された。以前は往復で支払いしていたが、片道の支払いで1日乗車券が発行されるようになった。これは、便

利になったといわれることが多くあるとドライバーから聞いている。しつこいようだが、これについても市民へ周知できているか。運賃などが大きく改正されているため、市民へさらにアピールした方がいいのではないか。

事務局から観光の話があったように、所要時間は長くかかるが、牛窓から刀剣博物館へ市営バスの一乗車券を使った観光ルートはどうか。基本的には公共交通不便地域への利便性向上策だとは思いますが、観光客も積極的に利用できる施策にできないか。市民以外でも県内の方にも周知できれば良いと考えている。

事務局 計画では市営バスに限らず、それ以外の公共交通機関の周知も盛り込んだ事業を検討する。

観光については、おっしゃる通りで、1日乗車券を上手にを使って観光して頂きたい。先日、ゆめタウンで聞き取り調査を実施した際に、1日乗車券を使って、長船からゆめタウン邑久店で乗り継いで、牛窓へランチに行く利用者がいた。計画では市営バス単独でも検討できるが、市営バスと民間バスを使った観光コースの設定も盛り込んでいければと考えている。

委員 医療機関、公的施設、商業施設の3つの所への移動ができるように市へお願いしてきて、随分利用しやすくなったと感じている。知ってもらうまでには時間がかかると思うが、根気よくアピールしていくしかないと思う。

市営バスの窓ガラスにスモークがかかっている中が見えず、利用者の表情が見えないため不気味だという意見を知り合いから頂いた。中の雰囲気笑顔であれば、沿道から市営バスを見た人も利用したいと思うのではないか。透明の窓にはできないか。

ゆめタウン邑久店で6台が集結する際に、乗降時の安全面や乗り間違いをしないか懸念している。方面別でどのバスに乗ればいいのかわかるようにして頂きたい。

団体で市民バスを使ったおでかけをしたいと思って計画したとき、車両の定員を超えそうな7~8人になったら、別の車が必要になるという話になってしまった。車の大きさが決まっているので仕方がないことだが、少し残念だった。2~3人、3~4人くらいの団体での利用があれば、利用者も増えると考えている。

事務局 市営バスへのご意見ですが、窓については既製品であり、現時点で変更できるか把握できていない。次回の車両購入時には頂いた意見を参考に検討する。

ゆめタウンのターミナル化では、時間差でバス車両が敷地内に乗り入れ、全車が集合して5分後に時間差で出発しているため、乗降が重複することは起こらないようになっている。1分刻みになっており、高齢の利用者が多い場合には混乱される可能性もあるため、頂いた意見を参考に検討する。

路線バスは中型バスや大型バスで運行するため、団体利用も可能だが、市営バスは10人乗りであり、団体利用は難しい。しかし、市営バスは車両の特性を活かして集落の狭隘な道路を通り、居住地の近くで乗降できるように運行している。実際に観光客からの問い合わせがくることがたまにあり、定員数以上で利用できるか聞かれたこともある。この場合は、対応が難しい旨を説明し、タクシー事業者を利用していただく方法を紹介、対応している。

委員 現状として、路線バスの利用者が毎年5%程度減少し、コロナの影響でさらに20~30%減少している。ワクチンが完成しても、利用者が全体の10%から20%減少した状況になることが想定される。経営について、今のサービスを維持するのも非常に厳しい状況である。今後、便数削減も想定される。また、今は中型バスで運行しているが、車両の小型化の必要がある。現状、事業者のみでは車両の導入が経営上難しいため、新計画策定時には車両の小型化などの導入を考慮した計画にして頂きたい。

事務局 本市の公共交通網の主軸は民間の路線バスやJRであり、そこが崩れるとネットワークが崩壊する。非常に厳しい状況であることは原委員からも情報提供があり、認識している。コロナの影響だけみると、収束しても損害分を取り返すまで十数年かかると聞いている。このような状況で、計画に何が反映できるか、できるだけ具体的に調整し、盛り込めれば良いと考えている。

会長 他に特に意見はないようなので、本日の議事は以上。

4. その他

～事務局から資料（瀬戸内市 JR 駅前等整備計画（短期計画）の進捗状況）について説明～

5. 閉会

副会長 地域の住民が自由に移動できることは、地域の活性化、地方創生に大変重要なことである。市営バスの路線を増やしたり、タクシー活用制度を実施したりして、公共交通不便地域が減った。ターミナル化、利用料金制度を見直したりして、改善してきたが、これではまだ十分ではないと

いうことは、皆さんのご指摘の通り。今後新たな計画を策定していくことになるが、今日特にご指摘いただいた PR について、皆さんにもっと周知していくことは、今の段階から必要なことと思っている。また、観光という話になれば、土日をどうするかという話が出てくる。

今後のスケジュールとして、1 月末までに計画案を取りまとめて、皆様方の意見を伺い、3 月までにはパブリックコメントをして、決めるということで、非常にタイトなスケジュールになっていることを改めてお詫び申し上げます。今日ご意見をまだ言い足りなかったことや新たに気づいたことがあれば、直接お伝えいただければ、計画に反映していきたいと考えている。どうぞ今後ともよろしく願います。

以上